







3年	整数のかけ算	暗算による 2位数×1位数
【ねらい】 簡単な場合の2位数×1位数の暗算の仕方を理解し、その暗算ができる。		

課題	<p>お楽しみ会でくばるあめを買いにスーパーマーケットに行きました。1袋 25 個入りのあめを3袋買ったら、あめは全部でいくつになりますか。</p>	<p>あめは全部でいくつになるのでしょうか。</p> <p>暗算のしかたを考えましょう。</p>	
----	--	--	---

既習事項	<p>①④工夫して計算すればきっとできるよ。分け分け作戦ならできるかも。</p>	<p>②たしざんしていけばいいかな。3回たせばいいかもしれない。</p>	<p>③大体 300 円として計算すれば分かるかな。</p>	<p>⑤式は <math>25 \times 3</math> だ！頭の中で筆算すればいい。</p>
------	--	--------------------------------------	--------------------------------	--

自力解決	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>①25を20と5に分けます。 <math>20 \times 3 = 60</math> <math>5 \times 3 = 15</math>なので、合わせると75です。</p> <p>④<math>25 \times 3</math>の3を1と2に分けます。 <math>25 \times 2 = 50</math> <math>25 \times 1 = 25</math>合わせて75です。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>②たし算で考える。 <math>25 + 25 + 25 = 75</math>だから75です。</p> <p>③25を30-5と考えます。 <math>30 \times 3 = 90</math> <math>5 \times 3 = 15</math> <math>90 - 15 = 75</math>です。</p> <p>⑤頭の中で筆算しました。 <math>3 \times 5 = 15</math> <math>3 \times 2 = 6</math>だから75です。</p> </div> </div>	<div style="background-color: #f96; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">指導上の留意点</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●あえて、筆算は使えない場面を設定する。</li> <li>●暗算にはいろいろな方法があるので、どの方法も褒めて生かす。</li> <li>●ここでは、式だけ出させてどう計算したかを全員で考える方法です。式と計算方法を関連づけることができる。</li> </ul>
集団思考	<p>1 考えた方法を発表する。</p> <p>2 それぞれの共通点について話し合う。</p> <p>          かけ算を暗算するには、どのように考えれば簡単にできますか。       </p> <p>          25を分けて計算しています。       </p> <p>          多く見積もって引いて計算しています。       </p> <p>          25を分けたり、30と見たりするのはどうしてかな？       </p> <p>          20や30にすると計算しやすいからです。       </p> <p>3 暗算についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かけ算の暗算にはいろいろな方法がある。</li> <li>・そのときに一番やりやすい方法で計算する。</li> </ul>	

○ 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)

- ・あめの代金を求める問題を出し，暗算の仕方が理解できたかどうか確認する。

1 袋あめが 98 円だとすると，あめの代金はいくらになるでしょう。みんなのどの方法が使いそうかな。  
式はどうなるかな？

98×3 だね。



98 円は 100 円に近いから，100 と考えて計算すると…  
③の方法が使いそう。

100 円と考えて  $100 \times 3 = 300$ 。  
1 ふくろ 2 円ずつ引いて  $2 \times 3 = 6$   
 $300 - 6 = 294$   
答えは 294 円だ。



- $98 \times 3$  の計算を筆算しなくても答えの出せる子どもたちを育てたい。そのためには，いろいろな解き方を認める。そして，様々な場面で使えるように設定することが必要である。